

夢窓幼稚園通信第23号

2023年 9月 1日

地球が沸騰するのではないかと思う夏...「水」と「塩」に本当にお世話になり、何とか乗り越え、あらためてそれらの大切さをおかみしました。

ゲリラ的な豪雨による各地で起きた大きな災害や地球環境の切実な状態を思うと共に、身近な庭の草花たちと与えられる恵みの雨や、年長の子もたちと出かけた滝の痛しの水しぶきや靈気に、水のゆたかさをしみじみ感じました。もうひとつの「塩」は、海からのたまわりもの、いのちの源です。お母さんのお腹の中の羊水は、古代の海水と同じらしく、生まれた後の私たちの体液も自然塩の成分である様々なミネラルが含まれているそうです。

私たちは、世界に広がる外なる大海だけでなく、自分の身体の中の内なる海によって生かされているのです。

大海から大空に吸い上げられ再び雨や雪として与えられる「水」と、海から分けてもらう清らかないのちの「塩」のことを思い巡らしていると、目の前に、どこまでも広がる青い海が浮かんできて、息づかいする胸の生命の営みとして波打つような、潮の満ち引きを作り出している。「月と地球のこと」に思いが飛びました。

そのような大海の水位に変化をもたらす「月」は、海ばかりでなく、地球上の様々な出来事や物語ともいろいろなつながっていて、大きな影響を与えてくれているのでしょう。実際 私たちの情感や情緒、思考や思い出すか...は、月によって導き出され、励まされ、癒され、磨きをかけられてきたのかもしれない。

時を超えて昔々から...所を超えて地上のあらゆる土地で...きっと そうなのだと思えます。

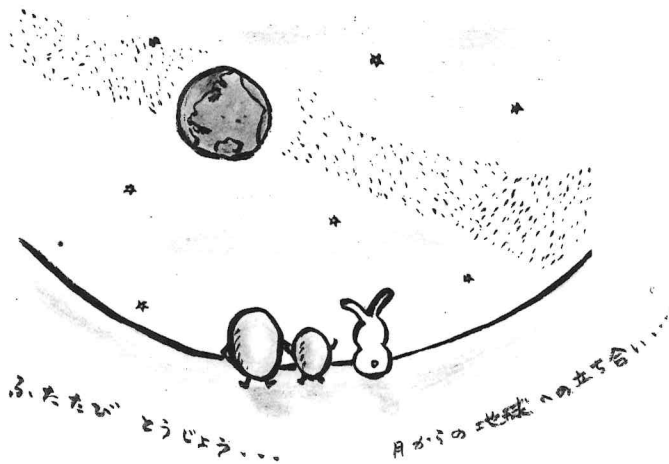
月を眺めている時、人はいつもより 心静かに 少し
優しくられる気がします。

今の時代、地球を・地上で作り出している出来事を、月を
通して見つめ 確かめるのも大切なのではないかと思います。

月の美しい季節がやってきましたね。

今日は満月。

今日も月から、地球を見つめたいと思います。



2023. 8月31日の夜に
園長 弁光 泰雄

- ・一昨日 園庭のプランターで育てている「ひまわり」の花が
ひとつ咲きました。
「向日葵」は文字通りおひさまが大好きですが、
夜の月明かりの中でも、また静かに大きくなっていくのでしょう。
- ・1990年頃まで 今のばらぐみ建物の所は おもちゃ倉庫と
土間で 土間の北側には 扉付きの棚が一面設置されていて
中には 塩が保管されていました。
江戸時代から続く伝統的塩田が廃止されるときに購入
された赤穂の塩の倉庫で、その良質な塩を使い大切に
給食が作られていました。